



2019年度 年主題 くイエス様とともに生きる～愛の交わりの中で

0・1・2歳児 11月主題 「ためす」
月のねがい
 ◎保育者と共に神様にありがとうと祈る(0)◎いろいろなことに興味を持ち試す
 ◎木の実や落ち葉に触れ、深まりゆく秋を感じる(0)
 ◎絵本の中のことばのくり返しを楽しむ(0)
 ◎神様からたくさんのものをいただいていることを感謝する
 ◎友だちとの遊びの中で主張したり、思いをことばで伝える
 ◎遊びが深まり、興味をもったことをためしてみる

3・4・5歳児 11月主題 「共感する」
月のねがい
 ◎秋の実りの豊かさや美しさにふれ、神様に感謝する
 ◎友だちとアイデアを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びこむようになる
 ◎様々な人の働きに関心を持ち身近に感じる
 ◎好きな絵本やお話が伝わり、イメージが広がり友だちと共感しながら過ごす



大きな行事を終えて…

運動会では、たくさんのご協力をありがとうございました。残念ながら雨になりましたが、子どもたちはいつも以上の力を存分に発揮していたように思います。また、転んで痛い思いをしながらも勇敢に走りきった友だちをとおして、内側に秘めている力をたくさん見ることのできた一日でした。

特に印象的だったのは、ある年中の男の子のこと。普段の練習ではいつも1,2番を競っていたのですが、いつも以上に力が入っていたのか、つまづいてしまうハプニングがありました。ゴールで受けとめたときのその子の顔は、悔しいっぱいの表情をしていました。でも、その男の子は転んだことも、願っていた結果ではなかったことも、決して言い訳したり涙したりすることはありませんでした。結果はどうであれ、目に見えない成長がしっかりと育まれていることを確信した一瞬でした。つい結果ばかりを気にしたり評価してしまいがちですが、行事に向かう過程の経験がなにより子どもたちの成長を支えているのだと思います。目に見える成長も喜びますが、それ以上に、内面の成長を見逃すことなく認めてあげることが大切にしたいものです。

先日、巡回相談が行われ、歯科衛生士さんにお聞きしたお話です。お子さんたちは、ソフトクリームを食べた事がありますか？今の子どもたちは、意外と一人でソフトクリームを食べる経験が少ないようです。ソフトクリームは舌を存分に使わないと、上手に食べられません。口からぼたぼたこぼれて汚れてしまいます。それが気になって、最近はお父さんお母さんが食べさせたり、すぐにティッシュで口を拭いたりしてしまうことが多いのだそうです。昔は、自分で拭いたり、舌を使って舐めることが普通だったのではないのでしょうか。この何気ないことが、実は舌の運動にもなっており、舌がしっかり動くことで自ずと言葉もはっきりしていくのだとか。小学校の言葉の教室でもまず最初にやることは舌の訓練です。ついつい手を出したくなりますが、子どもの成長にも関わることだと思えば、じっと見守るのも子育ての大切な方法だと改めて思うことでした。機会があれば、ぜひお試しください。 森山

今月の聖句 「わたしたちは互いに愛し合ひましょう。」 Iヨハネ4:7

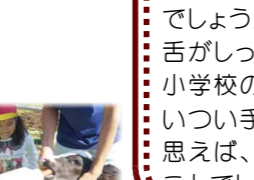
この度、月報での聖書の言葉を担当することになった池田基宣(もとのぶ)と申します。旧基督幼稚園の卒園児、前理事長・池田公栄の次男で、兵庫県宝塚市にある「恵みキリストの教会」にて牧師をしております。どうぞ宜しくお願い致します。

宮崎の幼稚園で働く姉から、最近興味深い話を聞きました。彼女が働く幼稚園で園長先生が腰痛に苦しんでいました。それを知った子どもたちが、早く元気になるように、神さまに祈ったそうです。園長先生はとても感動し、一人の園児に「○○ちゃん、園長先生のために祈ってくれたんだってね」と声をかけました。すると、その子は「違うよ、皆で祈ったんだよ」と答えたというのです。園長先生の苦しみに思いやりを示し、子どもたちの中に共感が生まれました。

そのような思いや行動はどこからくるのか。それは、各家庭の中にあります。愛されて育った子どもは、愛するということはどういうことか、教えられなくても分かります。さらにさかのほれば、その愛は神さまから与えられたものです。「愛する者たち、互いに愛し合ひましょう。愛は神から出るもので、愛する者は皆、神から生まれ、神を知っているからです」(ヨハネの手紙第一第4章7節)。

西之表基督教会協力牧師 池田基宣

学校へ行こう!



砂場に学ぶ

今年も台風に伴う度重なる洪水や崖崩れで、多くの方が犠牲になられました。亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しました。自然災害とはいえ、守られたはずの命も少なからずあつたように思えてなりません。対岸の火事ではなく、災害に対する知識や備えの大切さを改めて知らされました。

二学期に入り大きなイベントである運動会も経験し、心も逞しく見える子どもたちです。遊んでいるときの体の動かし方も、力が強さが要素です。幼児期における心身の発達が「あそび」が重要な要素であることは言うまでもなく、あそびが広がっていく第一歩に「砂場あそび」は欠かせません。ロバールガムが有名な言葉、「人生で大切なことはすべて幼稚園の砂場で学んだ」とおり、砂場は子どもたちの発育・発達に重要な場所だと思えます。そこで、以前、同志社大学の笠間浩幸氏の講演で、砂場での子どもたちの発達要素について学ぶ機会がありましたので、ご紹介いたします。

① 体と感性の発達：手は感覚神経がはりめぐらされており、砂粒の大きさや湿度、温度、重さ、手触りなど様々な刺激を直接的に与える。刺激を受け取った大脳は活発的に活動して、子どもにより意欲的な活動を導くことになる。② 想像力・創造性を広げる：子供の頭の中で広がっている空想の世界を砂場の上で具体的な形にしていく。事物の特徴を認識したり記憶したりする力にもつながっていくものである。③ 科学性：小さい子どもが同じことを繰り返す行為というのは、彼らにとっては「同じ」ではなく「同じようなこと」の繰り返しである。④ ことば：子どもは体験を通して知識や技術を獲得し、それを言葉として頭の中に蓄えていく。また知識や技術を思い出して応用したりすることが出来るようになる。⑤ 情緒と社会性を育む：喜びを共有し合うことの素晴らしさを砂遊びを通して学ぶ。一人遊び、並行遊び、共同遊びといった遊びに展開できるという懐の広さをもっている。⑥ 子どもが思うに遊ぶ：砂遊びは子供の求めている、作りながら壊す、壊しながら作るという行為を、自身の遊びの中で容易に行うことが出来るもの。砂は割れたり壊れて怒られることはないし、またすぐに思い通りに何かが形になってくれるもの。⑦ 学び：遊ぶことが水によって物の性質が変化したり、重いものは沈むことなど多くのことを学び、試行錯誤しながら実験し、結果を知ることは与えられる。…たかが砂場、されど砂場です。朝夕はめつり肌寒さを感じることが、健康第一に鍛錬していきたく思います。クリスマス会に向けて健康第一に手洗いの励行を続けて冬に備えてまいります。穏やかな日差しが、園庭を駆け回っている子どもたちに優しく降り注いでいます。短いけれど心地よい日々を、身も心も弾ませて共に楽しんでみたいと思います。

11月の行事予定

| | |
|--------|--------------|
| 5日(火) | 学校へ行こう!(年長児) |
| 12日(火) | 11月誕生会 |
| 13日(水) | 牛見学 |
| 15日(金) | 役員会・弁当日 |
| 16日(土) | 入園説明会11時～未定 |
| 22日(金) | ふれあい遊び |
| 26日(火) | 給食バイキング |
| 27日(水) | クリスマス会予行・弁当日 |

12月の行事予定

| | |
|--------|-------------|
| 5日(木) | もちつき大会 |
| 7日(土) | クリスマス会 |
| 11日(水) | 12月生まれ誕生会 |
| 17日(火) | 絵本の会クリスマス公演 |
| 未定 | 消防サンタ |
| 20日(金) | 2学期終園式 |
| 28日(土) | 御用納め・弁当日 |

令和2年度入園説明会
11月16日(土) 11時より
1号入園願書受付開始
12月2日(月)
ご紹介を宜しくお願いします!



イヤイヤは突然やってくる

心理士 木口屋恵子

パパ・ママを悩ませる子どもの第一反抗期。1歳後半になると身体を思うように動かせるようになりあれもこれも「やりたい!」という自我が芽生える一方で、情動をコントロールする脳の前頭前野がまだ機能していないために、イヤイヤ行動になって現れると言われています。この前頭前野が発達し始める3歳頃までをイヤイヤ期と言います。どんな行動があるのかのそいでみましょう。

ごちそうさま。 → いやまだいとおもひ!

お口の中に、虫はいないよ? → いいから虫履きなさい。

お手伝いしてあげろ! → あげろよ、ついでに誰かしてよ。

ここに飾っての! → いいから片付けて!

私癒えてもら、お片づけできない! → ママだよ。

自分でできるの! → 裏表だよー!

…(絶望) → ドンクワ片づけただけでしょ!

やだ! → いや、まだ何も言っていないから。

いたい!いたい! → 耳かき持っただけなのに…

エンドレス滑り台。 → 「あと一回」が永遠に…

公園の出口で無限リターン。 → ママ、ガス欠です…